

能・狂言

三鷹

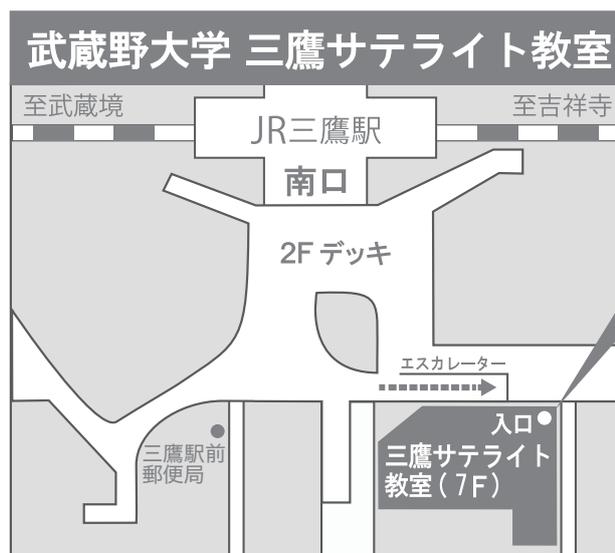
0401025

## 能の見方・味わい方

— 入門編3 —

受講料 (振込額)	8,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	火曜日		日程 7月12・19・26日 8月2日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全4回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学客員教授・元本学能楽資料センター長 羽田 昶 (はた ひさし)				
	1939年(昭和14)東京生。國學院大學文学部卒。海城高等学校・開成高等学校教諭、東京国立文化財研究所芸能部研究員、室長を経て、2000-2010年(平成12-22)武蔵野女子大学(武蔵野大学)教授。その間、2002年(平成14)より同大学能楽資料センター長。現在、武蔵野大学客員教授、同大学能楽資料センター研究員。専攻は能・狂言を中心とする演劇研究。観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。 著書(共著)に『狂言・鑑賞のために』(1974、保育社)、『能・本説と展開』(1977、桜楓社)、『能の作者と作品』(1987、岩波書店)、『能の囃子事』(1990、音楽之友社)、『能楽大事典』(2012、筑摩書房)、『昭和の能楽 名人列伝』(2017、淡交社)ほか。				
内容	入門編の1と2では能の歴史的展開、作者と作品、そして流派と演者、劇構造と演技を概観してきましたが、入門編3では、能の演技・演出の基礎的な要素である謡、型(舞と所作)、囃子、面・装束それぞれの技法について、視聴覚資料を用いながら、お話しします。それによって能の演技にはどういう特徴があるのか、どのように見ればよいのか、どのように聴けばよいのかを認識していただきたいと思います。				
	① 7月12日: 謡の技法 — 旋律とリズムの構造 ② 7月19日: 型の技法 — 所作の単元、舞の種類 ③ 7月26日: 囃子の技法 — 笛・小鼓・大鼓・太鼓の役割 ④ 8月2日: 面・装束の技法 — コスチューム・プレイとしての能				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。